

現代建築と瓦

建築セミナー

in KANAZAWA

CPD認定プログラム

多くの建築士・住宅建築関係者さまに
瓦の安全性と優れた特性を知っていただくセミナーを実施します。

瓦屋根が生み出す日本の美しい風景は、日本建築美の象徴であるとともに、その高い耐久性から、日本の家屋を守り続けて来ました。

瓦が日本で使われ始めて1400年。過酷な自然環境にさらされる屋根材として、瓦以上に適性の高い材料は未だ現れていません。

近年ではデザインのバリエーションも増え、純和風建築はもちろんのこと、現代和風建築、洋風建築にも、瓦ならではの質感が住宅に重厚感・高級感を生み出しています。

しかしながら、長引く不況による住宅市況の低迷や消費増税後の反動、さらには金属屋根など他屋根材の攻勢もあり、瓦の需要が低下しております。

愛知県陶器瓦工業組合では、地震、台風などの災害に強い施工方法「ガイドライン工法」を推奨し、また“瓦は色あせない。再塗装不要”など耐久性の高さから、長い目で見れば経済性の高い屋根材であることを、設計士の皆様をはじめ、建築業界の皆様にもPRさせていただき、「三州瓦」の需要喚起を図りたいと考えて、当セミナーを開催いたします。

万障お繰り合わせのうえ、是非ともご参加頂きたくご案内申し上げます。

平成27年11月6日(金)

会場／ITビジネスプラザ武蔵(6F 交流室)

時間／15:00～17:00(開場14:30)

参加費:無料(事前登録制) ※お申込み方法は裏面をご確認ください





◆講演

「人と場所と時をつなぐもの」

講師：堀部 安嗣氏(ほりべ やすし)

建築家(一級建築士) 神奈川県生まれ。1990年、筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業。
1994年、堀部安嗣建築設計事務所設立。2002年、「牛久のギャラリー」で第18回新建築賞吉岡賞を受賞。
2003年から東京理科大学非常勤講師、2007年から京都造形芸術大学大学院教授を勤める。

木・石・しっくいなどの自然素材を生かした作品は、懐かしさと確かな存在感をもって、強く私たちの五感に訴えかけてきます。住宅作家として高い評価を受けている若手建築家・堀部安嗣ワールドに触れてみてください。



photo:Yasushi Horibe

鹿嶋の研修所(茨城県鹿嶋市)

◆三州瓦プレゼンテーション

愛知県陶器瓦工業組合および全日本瓦工事業連盟の講師による、瓦と瓦屋根についての解説・紹介を実施いたします。瓦の歴史から、形状の違いや施工方法など、質疑応答も交えてお応えいたします。

会場のご案内

会場／ITビジネスプラザ武蔵 (6F 交流室)

〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
TEL:076-224-6340
◎JR金沢駅から徒歩10分



お申込み／お問合せ

愛知県陶器瓦工業組合

〒444-1323 愛知県高浜市田戸町1-1-1 TEL:0566-52-1200
URL:www.kawara.gr.jp MAIL:info@kawara.gr.jp

FAXでのお申込み

FAX : 0566-52-1203

下記のお申込み書にご記入の上、本チラシ裏面をFAXにてご送付ください

【現代建築と瓦／建築セミナー お申込み書】 **金沢会場**

お名前(フリガナ) _____

ご勤務先 _____ (所属)

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX _____

メールアドレス _____

*ご記入いただきました事項は、本セミナーの運営、開催目的以外で使用することはありません。